

2月15日(水) 午前9時から建設委員会が開かれ、JR小岩駅周辺の街づくり計画への陳情が審査され、続いて北小岩のスーパー堤防事業への審査が行なわれました。

◇

新村委員(生活者ネット) 私は前回、市川市のスーパー堤防の話をしたが、スーパー堤防の両脇は水が溢れると同市のハザードマップにあったが、区は細切れ状態のスーパー堤防をどう考えるか。

土木部 両脇が越水する、と指摘されたが標高差は30cmくらい、強化された部分、されない部分に差はある。破堤する場合、同じような危険はある。従ってスーパー堤防は進めていく。

新村委員 今回、江戸川下流域はスーパー堤防に指定されたが、上流域に手をつけなければ意味がない。対越水堤防は土木学会で出たものか。

土木部 下流だけ造るのは意味がない、と言うが区民の7割が0m地帯に住んでいる。人命を守るのが大前提だ。対越水堤防は土木学会に近畿地方整備局より出されたものだ。そこには様々な工法もあった。

新村委員 盛り土した堤防は崩れやすい。安定した地盤の北小岩に盛り土し、スーパー堤防化する事業自体が不要と思うが。

小俣委員(共産) 会計検査院の整備率1・1%の指摘、何故、国交省と違えるのか。

土木部 1・1%という公表は1対30(30H)で完成というものだ。国交省は暫定的に整備した所を入れて数字を出してきた。江戸川区は治水を進めてもらいたい。

小俣委員 次回、会計検査院と国交省

の整備率の違いを荒川、江戸川に限って出して欲しい。18班地区は1対30でみるとうかが。

土木部 30Hの幅は用意している。千葉街道が30Hになっている。また、その地域に事情が各々あつて、検査院の指摘になったと思う。

小俣委員 上流での遊水池の充実、利根川の整備、工法の検討などやることは沢山ある。区の治水対策にも優先順位がある。税金をどう使うか検討されたい。また、スーパー堤防と街づくりは一体として理解していいか。

土木部 切り離して考えるべきでない、と考える。堤防が整備されれば街の安全が生まれる。事業仕分けで時間、金もかかる、となつて873kmから人口密集地の120kmになった。国の方針に従って進めてもらえれば、区としてもうれしい。

小俣委員 18班では色んな意見が出ている。国交副大臣はスーパー堤防で整備しろ、の指示は出していない。区のスーパー堤防事業に変更があれば、資料を出して欲しい。

土木部 篠崎も含め次回に出す。江戸川流域は新規事業と考えていない。国に早く始めると強く言っている。目標としてのスケジュール表を次回出す。

小俣委員 江戸川、荒川の河川整備計画はあるのか。

土木部 2河川のそれはない。河川整備計画がスーパー堤防の前提ではない。

新村委員 洪水時にスーパー堤防に逃げるな、とする自治体もある。

田島委員長(自民) 本日は継続とする。

